

1、幼稚園(杉田幼稚園)の教育目標

教育基本法及び学校教育法を基本として、幼稚園教育(幼児教育)を推進し、豊かな心を持つ人を育成することを目的とし、次の教育目標を定める。

教育目標:「明るく 元気に 頑張る子」

- ・物を大切にする子
- ・思いやりのある子
- ・お友だちとたくさん遊ぶ子
- ・お話をよく聞くことができる子
- ・思ったことがはっきり言える子
- ・考える力のある子

2、令和2年度の事業計画及び重点目標

事業計画～「緑いっぱい自然の中で、元気な子が育つ学園」として教育活動の推進

- ① 「有徳の人」づくりに向け、園児一人一人を大切に、伸び伸びと学びのできる場の設定及び新型コロナウイルス感染症防止・災害対策等の危機管理の徹底
 - ② 園児達の発達段階に応じた援助に努め、生きる力の基礎を培うため、園児達のモノづくり体験の推進
 - ③ 思いの伝え合いの場づくりを目指し、自立意識の芽生えを育む活動ができる教育課程の工夫
 - ④ 小学校への接続が円滑にできるよう、近隣園や保護者・地域と共感し合い、教育機関等との連携強化
- 以上の事項を重点として、教育内容のさらなる向上に努める。

3、評価項目の達成及び取組状況

< A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、成果が十分でない

D:取り組みが不十分である>

| 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|----------------------|------|--|---------|---|
| | 結果 | 内容・理由等 | 結果 | 内容・理由等 |
| 1、保育内容 (1) 保育の計画性 | A | 園の教育理念や方針の許に、園全体・各学年・クラスの保育計画を立て、園児一人一人の発達に応じた保育に努め、反省を生かし、次のステップにしている。コロナ禍の中で、教育課程の環境構成や行事の工夫によって、子どもへの反応が良く、今後の計画づくりの幅が広がった。 | A | 今年度は当初より、コロナの休園があり、厳しい環境になったが、園目標に沿って、教職員が保育を計画的に執行し、日・週案やその反省を園長・副園長等が閲覧し、助言等を行っている旨を伺い、園全員が一つになって教育活動に当たっている状況に敬意を表する。 また、若手教員も成長され、子どもたちの発達を見通した環境構成などに取り組む、自らが率先して園運営への協力をする姿勢が自己評価から伺われる。 |
| (2) 保育のあり方・幼児への対応 | A | 在園児達の個々の特質などを各教員で共有し、保護者からの的確な情報を得て、日々の生活を通じ、園児の気持ちに添えるよう心掛けている。コロナへの対応を職員全体で注視し、園児達の不安解消やアフターケアに努めていきたい。 | | 園児達の成長をさらに前進させ、保護者の信頼を受けて、教員各位も自信を持って、日々の教育活動を実践されることを願います。 |

| | | | | |
|-------------------|---|---|---|---|
| 2、保育者としての資質・能力 | A | <p>本園教員がお互いの立場、役割を理解し合い、対話を大事にしながら、全教員が自己の専門性を高め、保育に自信を持って取組めるよう各自研鑽を積み、専門性を高めたい。</p> <p>また、若い教員が多いので、園全体のコミュニケーションを図り、先輩は後輩指導に意を用い、保育活動に努めていきたい。</p> | A | <p>自己評価から、教員それぞれが研鑽を重ね、全員が相互に補い合いながら、自己の力量向上に努める姿が伺える。</p> <p>さらに、国や県の施策も教員の資質向上を求めており、日々の研鑽を積むと共に、教育課程の充実を目指し、コロナ禍が終息したならば、公開保育など他園との交流・共同研究を通じ、教員全体のさらなる向上を目指して欲しい。</p> |
| 3、保護者への対応 | A | <p>教育目標に掲げた保護者や地域との共感し合う教育活動が、コロナの影響で縮小されたが、運動会や生活発表会には保護者の協力もあり、バケツ稲づくりや餅つき、茶道教室では地域との連携を図ることができた。</p> <p>保護者への対応の面では、保護者面談も日を定めて実施し、情報交換のお便り帳では、写真や絵柄を挿入する等工夫をして、家庭との共通理解を実践している。また、子育て支援として「たまごちゃん教室」に参画し、保護者の交流に努めている。</p> | A | <p>保護者参観は、コロナ禍で年2回の実施だったが、親子共同作業が仕組まれて、七夕飾りや思い出の折り紙などユニークな取り組みで、行事の質を高めると共に、モノづくりによる園児、保護者、教員の三者の連携が図られている。</p> <p>また、本園が地域の「子育て支援機関」であり、保護者からの子育てに関する相談（要援助児）等も多くなって、専門的知識も必要となるので、県幼稚園振興協会の「子育てカウンセラー」の活用を保護者に啓発するとともに、「たまごちゃん教室」の幅広い活用を期待する。</p> |
| 4、地域の自然や社会とのかかわり・ | C | <p>園・家庭・地域が一体となった教育を進めるため、コロナ禍で中止となった園行事である「運動会」や「すぎの子フェスタ」などに、区民の参加を啓発し、地域との交流を進めたい。</p> <p>今年度は中止となったが、敬老会へ年中児が参加し、地域の方々から熱い応援を頂いた。更に毎年、年長児は、「茶道教室」を開き、地域の茶道の先生の指導を仰いでいる。</p> <p>教員自身が地域の自然や歴史、寺社等の知識を深め、それを素材とした教育活動にも取り入れていくことが地域とのかかわりも深まり、交流に繋がって行くと思う。</p> | B | <p>事業報告を伺い、学園行事が今年度はコロナのため、殆どが中止となったが、今後、学園行事へ地域の方々の参加を啓発し、また、年長児の鼓隊が「幼年消防クラブ」として地域との触れ合いに役立ち、園児の人間形成の基礎となり、次年度への期待が大きい。</p> <p>また、カレーづくり・餅つきを始め、さつま芋やバケツ稲を育てる体験学習にも地域の協力があり、保護者も参加しての親子協働による活動など続けて欲しい。</p> <p>さらに、教員自身が地域の歴史や寺社の知識も深めて行く姿勢があるので、次年度には実行し、園児の教育活動に生かしていくことを期待する。</p> |
| 5、研修と研究 | B | <p>年間を通じ、園全体で、研修テーマ（遊びで変化していくコミュニケーション）を設定し、園内研修を施行し、市私立幼稚園の「研究資料」を提出でき</p> | B | <p>本年度の「公開保育」は、コロナの影響で中止となったが、来年度も公開保育の実施園であり、他園との教員と園たちの交流が実施され、教育者としての資質向上</p> |

| | | |
|--|---|--|
| | <p>たが、各種の研修が中止となった。コロナ禍が収まった状況により、園児一人一人の心のケアに関する研修も課題である。</p> <p>また、他園の良い所を吸収できる市内10園による「公開保育」も今年度は中止となり、近隣幼稚園との園児の交流会等も計画通り進まなかったが、来年度は、小学校との連携や他幼稚園との相互交流研修・公開保育に積極的に挑戦していきたい。</p> | <p>に努められることを期待する。</p> <p>日常勤務の中でも研修機会を増やし、その成果を教員間で分かち合うなど一層の努力を願いたい。</p> <p>小学校との幼小連携の機会を創るとともに、自己評価に掲出されている他の幼稚園との共同研究・研修など幼幼連携の推進は、今後、是非とも進めて頂きたい事案である。コロナ禍が園児たちの心にも影響を与えており、そのアフターケアなどの研修にも挑戦されたい。</p> |
|--|---|--|

4、重点目標等に対する総合的な評価結果

| 結果 | 内容・理由等 |
|----|--|
| A | <p>本年度は、年度開始間もなくの新型コロナ感染防止のための休園などにより、年間を通じた園全体の保育計画及び月間・週間指導計画の実施には大変だったと思うが、教職員各位が、自己の教育活動や管理運営面でも、コロナ感染防止を徹底し、日々の園児の生活を進めて頂き感謝するとともに評価委員会として高く評価する。</p> <p>学園行事の「春の遠足」を始め、「すぎの子フェスタ」、「こどもの国への水遊び」、「高校生による音楽会」等が中止となったが、「運動会」や「生活発表会」は、保護者の協力・支援もあり、「カレーづくり体験」、「茶道体験教室」、「餅つき」など地域の方々との協働や支援によって、「地域と共に生きる教育の実践」を進められた経緯を評価するとともに、今後もさらなる発展に結び付けられたい。</p> <p>さらに、地域の農業(さつま芋・落花生)や製紙業(古紙:リサイクル)などの教育資源を活かした学習やモノづくりへの参加、さらに「富士山の日」・「おやこんぼの日」等を活用する生活体験など、園児の豊かな心を育む上でも効果があった教育活動と思う。そのためには、教員自らが地域(自然、歴史、地形、寺社、祭り等の教育資源)を学ぶ機会を設け、その素材を園児たちの学びに活用されたい。</p> <p>今後も、園と家庭(保護者)・地域が連絡を密にし、保護者参観日の内容を工夫するなど、よりよい未来の子ども達を育てる環境づくりを期待する。なお、ホームページは、随時見直しを行い、幼稚園を多くの方に理解頂けるよう内容も一層充実されることを期待する。</p> |

5、今後取り組むべき課題

| 課題 | 具体的な取組方法 |
|-------------------------------|--|
| 1、教育計画に基づく地域、保護者と共感し合う教育活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の自己評価結果を活かせるように年間計画を立て、日々の保育を常に振り返り、見つめ直しながら、新しいよりよい保育活動を進めていく。 ・杉田幼稚園から地域への情報発信を増やし、特に、学園の主要行事への地域住民の参加を回覧板やHPによって啓発し、保護者や地域等に杉田幼稚園をアピールするとともに、教員自身も地域の自然、歴史、地形、寺社を学ぶ。 |
| 2、資質向上を目指した研修の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領の内容を基本として、要援助児への対応及び地域や保護者との共感し合える新たな課題等をテーマとした教職員の研究活動を充実するとともに、その成果を園内研修で発表するなど、研究・研修体制を強化する。 |
| 3、学園の防災・危機管理等の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の学校や幼稚園との連携を深め、教職員間の交流や共同研究等を行うとともに、教職員のチームワークの良さを、園活動の中で園児達に示し、伝授していくことで、有意義な園生活を送れるように努める。 ・「コロナ感染防止ガイドライン」を始め、「地震等防災対策マニュアル」や「危機管理マ |

| | |
|--|--|
| | ニユアル」に沿い、家庭との連携を図り、防災や衛生管理機関等との連絡体制を確立し、的確な避難訓練、情報提供等を実施し、園内遊具の点検・改善整備も行い、危機管理教育の推進を図るとともに、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症対応など一層充実して行く。 |
|--|--|

6、学校関係評価者

(参加者)

- ・保護者(杉田幼稚園PTA会長)
- ・地域住民(地区在住)
- ・学識経験者(地区生涯学習推進会副会長)

令和2年度 学校法人長橋学園 杉田幼稚園 財務情報公開

1.財務状況

【資金収支計算書】

| 科目 | 決算額 |
|----------------|-------------------|
| 収入の部 | |
| 学生生徒等納付金収入 | 36,194,860 |
| 手数料収入 | 130,000 |
| 寄付金収入 | 124,686 |
| 補助金収入 | 30,512,000 |
| 資産売却収入 | - |
| 不随事業・収益事業収入 | 8,455,655 |
| 受取利息配当金 | 23,874 |
| 雑収入 | 1,183,390 |
| その他の収入 | 14,373,329 |
| 資金収入調整勘定 | △2,835,410 |
| 前年度繰越支払資金 | 11,669,886 |
| 収入の部 合計 | 99,832,270 |
| 支出の部 | |
| 人件費支出 | 44,358,718 |
| 経費支出 | 22,009,169 |
| 施設関係支出 | 2,970,000 |
| 設備関係支出 | 125,950 |
| 資産運用支出 | 9,971,210 |
| その他の支出 | 1,395,716 |
| 資金支出調整勘定 | △1,085,835 |
| 翌年度繰越支払資金 | 10,594,068 |
| 支出の部 合計 | 99,832,270 |

【貸借対照表】

| 科目 | 本年度額 |
|---------------------|--------------------|
| 資産の部 | |
| 固定資産 | 292,249,866 |
| 流動資産 | 13,449,318 |
| 資産の部 合計 | 305,699,184 |
| 負債の部 | |
| 固定負債 | 3,604,142 |
| 流動負債 | 3,050,949 |
| 負債の部 合計 | 6,655,091 |
| 基本金の部 | |
| 第1号 基本金 | 368,032,944 |
| 第4号 基本金 | 6,000,000 |
| 基本金の部 合計 | 374,032,944 |
| 翌年度繰越収支差額 | △74,988,851 |
| 純資産の部 合計 | 299,044,093 |
| 負債及び純資産の部 合計 | 305,699,184 |

【事業活動収支計算書】

| 科目 | 決算額 | | |
|---------------|----------|-------------------|------------|
| 教育活動収支 | 収入 | 学生生徒等納付金収入 | 36,194,860 |
| | | 手数料 | 130,000 |
| | | 寄付金 | 124,686 |
| | | 経常費等補助金 | 29,812,000 |
| | | 付随事業収入 | 8,455,655 |
| | | 雑収入 | 1,183,390 |
| | 支出 | 人件費 | 54,233,392 |
| | | 経費 | 28,980,070 |
| | | 徴収不能 | 0 |
| | | 教育活動支出計 | 83,213,462 |
| | 教育活動収支差額 | | △7,312,871 |
| | 収入 | 受取利息・配当金 | 23,874 |
| | | その他の教育活動外収入 | 0 |
| | 支出 | 借入金等利息 | 0 |
| 教育活動外収支差額 | | 23,874 | |
| 経常収支差額 | | △7,288,997 | |
| 教育活動外収支 | 収入 | 資産売却差額 | 0 |
| | | その他の特別収入 | 700,000 |
| | 特別収入計 | | 700,000 |
| | 支出 | 資産処分差額 | 30,000 |
| その他の特別支出 | | 0 | |
| 特別支出計 | | 30,000 | |
| 基本金組入前当年度収支差額 | | △6,618,997 | |
| 基本金組入学合計 | | △2,995,950 | |
| 当年度収支差額 | | △9,614,947 | |
| 前年度繰越収支差額 | | △65,373,904 | |
| 翌年度繰越収支差額 | | △74,988,851 | |
| 事業活動収入計 | | 76,624,465 | |
| 事業活動支出計 | | 83,243,462 | |

【財産目録】

| 科目 | 金額 |
|------------------|--------------------|
| 基本財産計 | 239,955,286 |
| 運用財産計 | 65,743,898 |
| 資産の部 合計 | 305,699,184 |
| 固定負債計 | 3,604,142 |
| 流動負債計 | 3,050,949 |
| 負債の部 合計 | 6,655,091 |
| 差引純資産 | 299,044,093 |
| 正味財産の部 合計 | 305,699,184 |

令和2年度 事業報告 (学)長橋学園 杉田幼稚園

1、学校法人の実績

昭和54年3月15日に設立以来、40年余の歴史を踏まえ、「豊かな人間性の基礎を育み、健康で明るい素直な子どもの育成」と「地域に根ざした幼児教育施設の役割」を果たし、コロナ禍による休園等もあったが、学校法人として、地域に役立つ幼稚園として、安定した経営を行うことができた。

2、就園児の実績

| 区 分 | 年長（はと） | 年中（ひばり） | 年少（ひよこ） | 満3歳児（もも） | 合 計 |
|--------|--------|---------|---------|----------|------------|
| 学 級 数 | 2 | 2 | 2 | 1 | 7(園則学級数:9) |
| 園児数（人） | 32（卒） | 40 | 30 | 14 | 116 |

＜令和2年3月現在＞

3、研修の実績

県私立幼稚園振興協会等の外部研修がコロナ禍の影響で、殆ど中止となり、市私立幼稚園協会の公開講座、実技研修等も中止となって、当初計画した教職員の資質向上の研修メニュー全体を進めることができなかった。

そのため、重点を園内研修に求め、園児の諸行動に関するテーマを学年毎に決め、教員全体で話し合う機会を設定したり、教育活動の教材や活用素材の研究など、多彩な研修方法を教員相互で工夫しながら教員自身が資質向上に勤め、実質的な成果を得ることができた。

4、教育活動（行事）の状況

4月以来、新型コロナ感染防止対策を徹底し、「明るく元気に頑張る子」を園の目標に、① 園児一人一人が、生き生きと活動できる場づくりを実施した。② 家庭、地域社会及び幼稚園が一体となり連携を深め相互に理解し、共感し合える園づくりとしてバケツ稲作体験教室（苗植え、稲刈り、脱穀、もちつき）、茶道教室など規模を縮小し、或いは方法を工夫しながら実施した。また、この一環として「おやこんぼ事業」（振興協会主催）を推進した。③ 運動会、生活発表会と本園の二大学園行事は、日時の変更や使用する会館の席次・参加保護者の数減等により、園児の出場各種目・出演が無事に終えることができた。④ 小学校への接続が円滑にできるよう園児たち（年長児）の「交通安全教室」を2回に亘って開催し、交通指導員・リスさんクラブ員（保護者）の指導で、横断歩道での注意などを学んだ。平成25年度から始まった満3歳児保育も、最終的に14名が就園した。

＜主要学園行事の実績＞

| 年 月 | 行 事 | 年 月 | 行 事 |
|------|---|-------|--|
| 令2.4 | ・入園式（園庭実施）、始業式、内科検診、春の遠足（中止） | 令2.10 | 芋ほり及び稲刈り・脱穀体験、富士サファリパーク遠足（春遠足の代替） |
| 11.5 | ・歯科検診、さつま蔓挿し（代行）、ひまわり種蒔き（中止） | 11.11 | ・防災訓練（引渡し）、消防フェスティバル演奏（中止）、生活発表会（席幅工夫） |
| 11.6 | ・防災訓練、子育てフェア（中止）、ジャガイモ堀体験（もも組）、カレーづくり食育体験、保護者参観 | 11.12 | ・餅つき体験（保護者不参加、鏡餅のみ作成）、クリスマス-サンタ来園（プレゼントの園児渡し省略）、宮東オケ（中 |

| | | | |
|------|---|------|---|
| | | | 止)、幼幼連携(中止)、終業式 |
| 11 7 | ・すぎの子フェスタ(中止)、こどもの国水遊び(中止)、市私立幼稚園協会音楽鑑賞(中止)、終業式 | 令2.1 | ・始業式、まゆだまつくり(飾り)・正月遊び(凧作り・凧上げ) |
| 11 8 | ・夏期保育(流しソーメン、スイカ割)、中学生職場体験受入(中止) | 11 2 | 交通安全教室、豆まき(浅間大社の鬼無し)、茶道体験教室(マスク着用・並び方工夫)、保育参観(学年毎に実施・参観者数の減)、お店屋さんごっこ、縄跳び |
| 11 9 | ・始業式、運動会(家族の参加減)、防災訓練、落花生堀(年長児のみ)、杉田敬老会出演(中止) | 11 3 | ・お別れ遠足(年長児:平日のまかいの牧場)、お別れ会、卒園式(規模縮小)、終了式 |

5、施設・設備整備の状況

- ・園児の安心、安全確保のため、施設、設備の点検を実施するとともに、遊具等点検(年9回)を行った。前々年度末に設置した「防犯カメラ装置」によって園舎内外の保安に役立っており、本年度はお迎え車の通行による事故防止を図るため、「園庭入口柵」を設置した。
- ・施設設備に関しては、**通園バスの雨天時の乗降場整備(2,940千円)を施工した。**

6、管理・運営関係の実績

- (1) 預かり保育<保育時間外に加え、新たに、夏・冬休み預かり保育を実施> (2) 通園バスの運行 (3) 園庭開放事業(子育て支援「たまごちゃん教室」事業<一部中止>) (4) エコ教育の推進と古紙回収 (5) 教育実習の受け入れ (6) P T A活動の充実～**市 P 連の会長任務の遂行**
- (7) **幼児教育無償化**(本園の保育料 16,000 円→24,000 円・令2年度改定)への対応事務
(8) 新教育要領に基づく教育課程の充実 (9) 「杉田幼稚園」ホームページの改良
(10) 私立幼稚園教育研究東海北陸大会への参加<中止>
(11) 学校評価の徹底を行った。(12) **コロナウィルス感染症への対応**(諸学園行事の縮小・中止など～お別れ遠足、入園式、卒園式、園外参加行事、P T A関係会議等)